



2022年3月期
第1四半期
決算説明資料

2021年8月5日

- **2022年3月期第1四半期 業績概要**

- ◆ 業績概要
- ◆ 連結売上高の推移
- ◆ 連結営業利益の推移
- ◆ 連結売上高の内訳
- ◆ 電子部品事業の地域別内訳
- ◆ 電子部品事業の市場分類割合
- ◆ 連結貸借対照表

- **2022年3月期 業績予想**

- ◆ 業績予想の修正
- ◆ 業績予想
- ◆ 連結売上高、営業利益予想

- **Appendix**

- ◆ 会社概要
- ◆ 企業理念・長期ビジョン・行動指針
- ◆ 中期経営計画の基本戦略
- ◆ 中期経営計画の数値目標

● 2022年3月期第1四半期 業績概要

- ◆ 業績概要
- ◆ 連結売上高の推移
- ◆ 連結営業利益の推移
- ◆ 連結売上高の内訳
- ◆ 電子部品事業の地域別内訳
- ◆ 電子部品事業の市場分類割合
- ◆ 連結貸借対照表

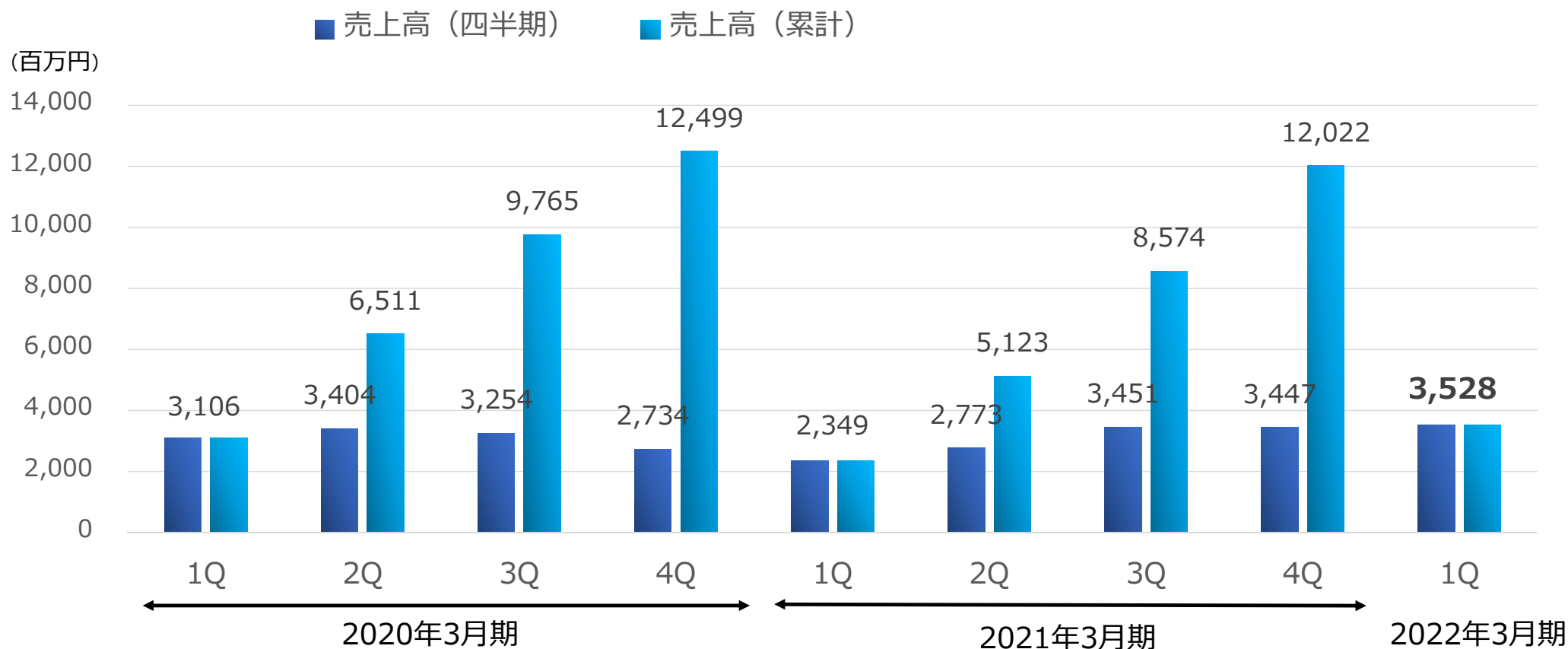
業績概要

NOBLE

(百万円)	2021年3月期 1 Q	2022年3月期 1 Q	前年同期比		2022年3月期 通期予想 (修正)	進捗率
売上高	2,349	3,528	1,179	150.2%	14,000	25.2%
営業利益	△101	501	603	—	1,300	38.6%
対売上高比	△4.3%	14.2%			9.3%	
経常利益	△47	537	585	—	1,400	38.4%
対売上高比	△2.0%	15.2%			10.0%	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△51	422	474	—	1,150	36.8%
対売上高比	△2.2%	12.0%			8.2%	

連結売上高の推移

NOBLE

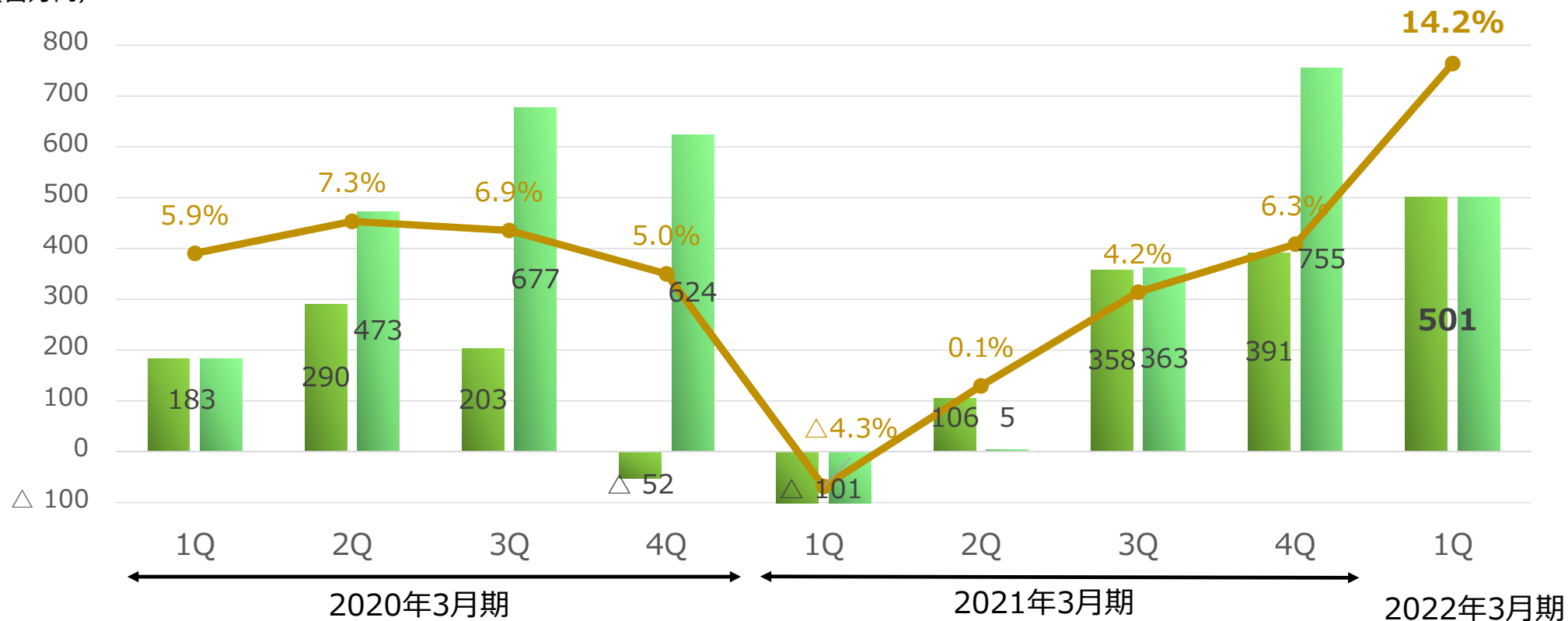


連結営業利益の推移

営業利益

■ 営業利益（四半期） ■ 営業利益（累計） ● 営業利益率（累計）

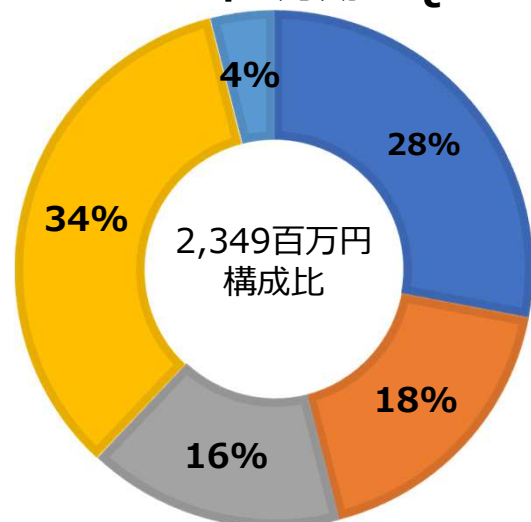
(百万円)



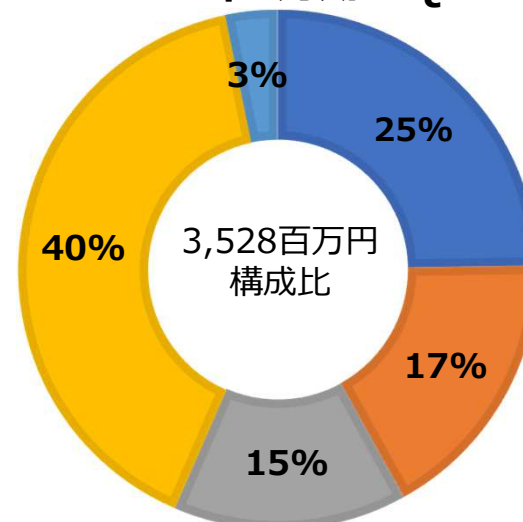
連結売上高の内訳

NOBLE

2021年3月期 1 Q



2022年3月期 1 Q



- 電子部品事業・前面操作ブロック
- 電子部品事業・可変抵抗器
- 電子部品事業・固定抵抗器
- 電子部品事業・その他
- その他事業

(百万円)		2021年3月期 1 Q	2022年3月期 1 Q	前年同期比	
電子部品事業	前面操作ブロック	644	873	228	135.4%
	可変抵抗器	420	607	186	144.3%
	固定抵抗器	383	513	129	133.7%
	その他	800	1,420	619	177.4%
	小計	2,250	3,414	1,163	151.7%
その他事業		98	114	15	115.7%

電子部品事業の地域別内訳

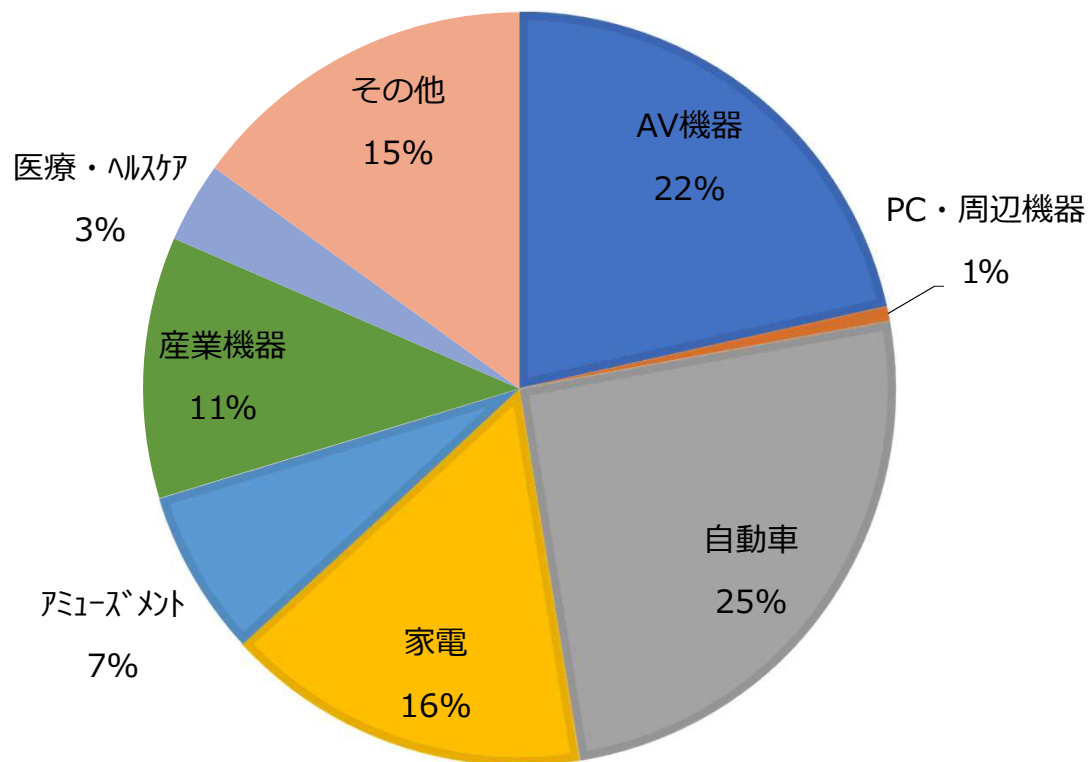
NOBLE

(百万円)		2021年3月期 1 Q	2022年3月期 1 Q	前年同期比	
日本	売上	1,186	1,799	612	151.6%
	セグメント利益	△105	372	477	—
アジア	売上	1,024	1,534	509	149.7%
	セグメント利益	3	150	147	4,861.1%
北米	売上	39	80	41	206.5%
	セグメント利益	△4	8	13	—
調整額	セグメント利益	△5	△25	△19	—
電子部品 合計	売上	2,250	3,414	1,163	151.7%
	セグメント利益	△112	506	619	—

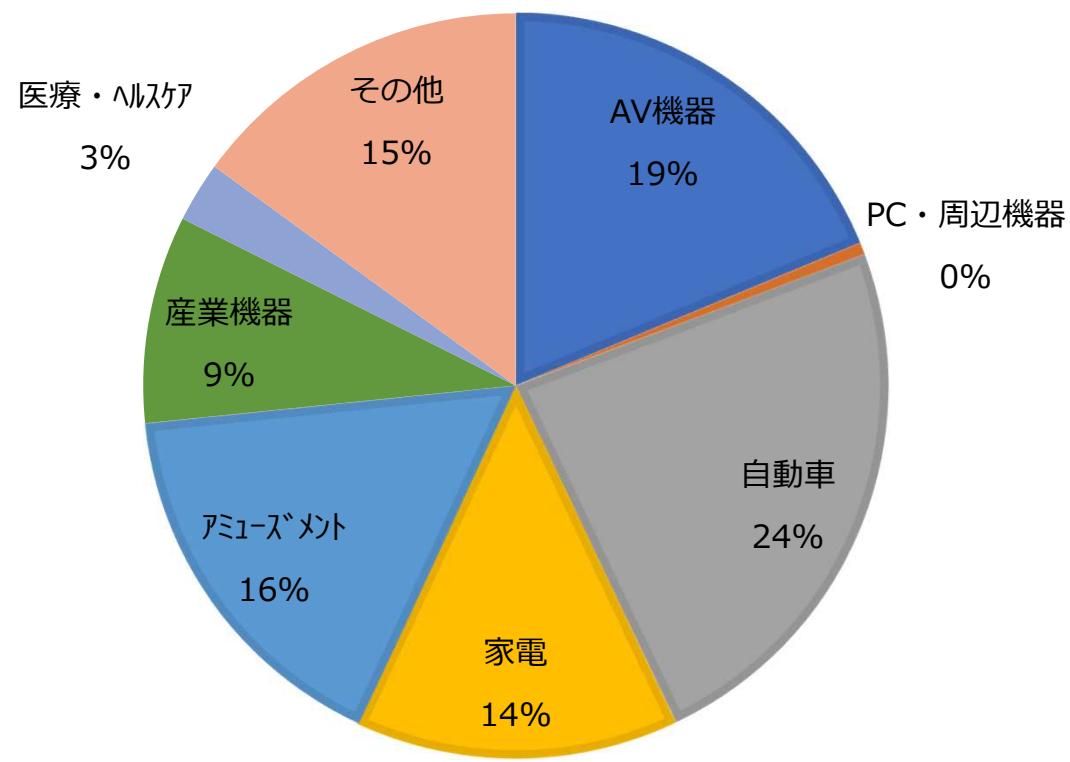
電子部品事業の市場分類割合

NOBLE

2021年3月期 1 Q



2022年3月期 1 Q



連結貸借対照表

NOBLE

(百万円)

		2021年3月期	2022年3月期 1 Q	増減
資産	流動資産	15,846	16,443	596
	固定資産	11,423	11,543	120
	合計	27,270	27,987	716
負債	流動負債	2,360	2,560	199
	固定負債	1,846	1,897	51
	合計	4,206	4,457	250
純資産 合計		23,063	23,529	466
負債純資産 合計		27,270	27,987	716

➤ 流動資産：現金及び預金（659百万円）の増加等

● 2022年3月期 業績予想

- ◆ 業績予想の修正
- ◆ 業績予想
- ◆ 連結売上高、営業利益予想

業績予想の修正

- 2021年5月11日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想につきまして、主に自動車電装向けや生活家電向けが好調を維持して推移していることから、第2四半期累計期間と通期連結業績予想の修正をいたします。
- 本日「2022年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

(百万円)	前回発表予想		今回発表予想		増減額		増減率 (%)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	6,700	13,200	7,500	14,000	800	800	11.9	6.1
営業利益	500	900	900	1,300	400	400	80.0	44.4
経常利益	550	1,000	950	1,400	400	400	72.7	40.0
親会社株主に帰属する当期純利益	450	800	800	1,150	350	350	77.8	43.8

業績予想

NOBLE

(百万円)	2021年3月期			2022年3月期			前年比		
	上期	下期	通期	上期予想	下期予想	通期予想	上期	下期	通期
売上高	5,123	6,899	12,022	7,500	6,500	14,000	146.4%	94.2%	116.5%
営業利益	5	750	755	900	400	1,300	—	53.3%	172.1%
対売上高比	0.1%	10.9%	6.3%	12.0%	6.2%	9.3%			
経常利益	70	812	883	950	450	1,400	—	55.4%	158.5%
対売上高比	1.4%	11.8%	7.3%	12.7%	6.9%	10.0%			
親会社株主に帰属 する当期純利益	24	730	755	800	350	1,150	—	47.9%	152.2%
対売上高比	0.5%	10.6%	6.3%	10.7%	5.4%	8.2%			

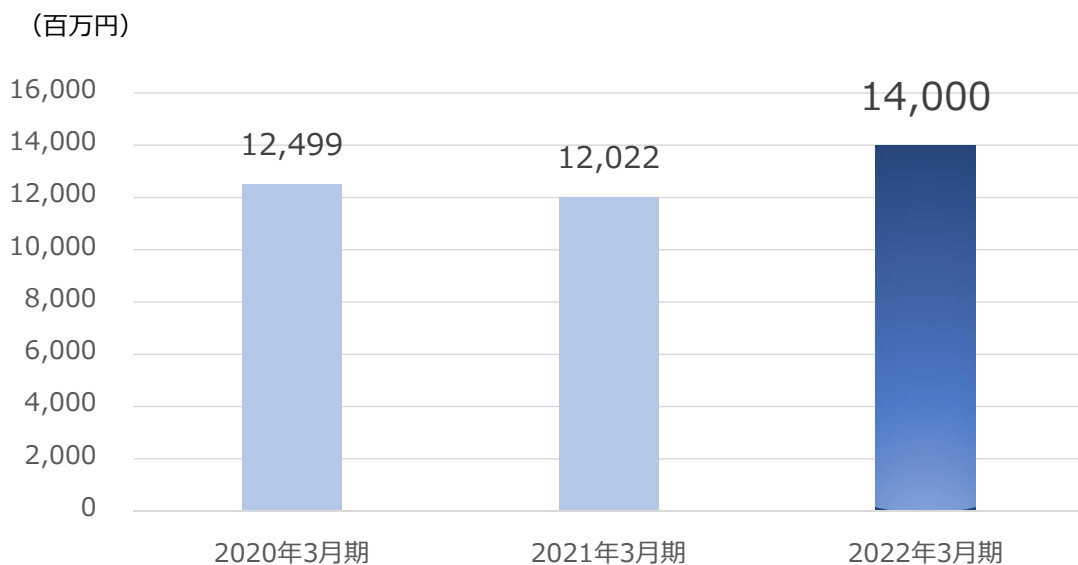
※2022年3月期上期予想の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の対前年比は、1,000%を超えるため「—」と記載しております。

配当 (円)	15.0	25.0	40.0	25.0	25.0	50.0
--------	------	------	------	------	------	------

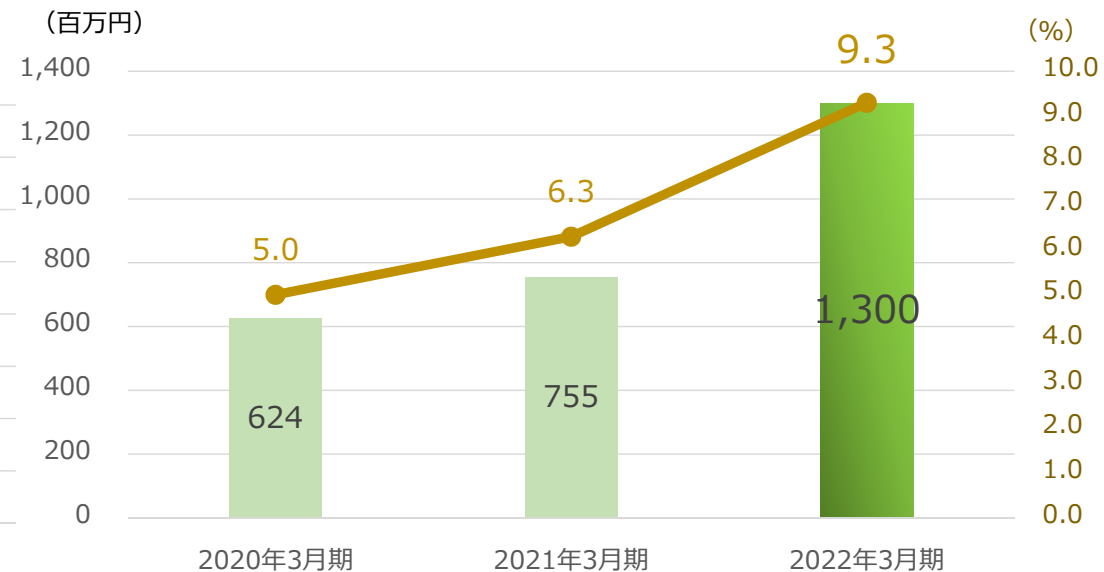
連結売上高、営業利益予想

NOBLE

売上高



営業利益



■ 営業利益 ● 営業利益率

● Appendix

- ◆ 会社概要
- ◆ 企業理念・長期ビジョン・行動指針
- ◆ 中期経営計画の基本戦略
- ◆ 中期経営計画の数値目標

会社名	帝国通信工業株式会社 Teikoku Tsushin Kogyo Co., Ltd.
本社所在地	神奈川県川崎市中原区荻宿45番1号
設立	1944年8月1日
代表者	代表取締役社長 羽生 満寿夫
資本金	34億53百万円
従業員数	連結：1,586名 / 単体：234名（2021年3月末現在）
主な事業内容	電気機械器具同部品等の製造及び販売
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 [証券コード：6763]
URL	https://www.noble-j.co.jp/

企業理念・長期ビジョン・行動指針

NOBLE

企業理念

帝通は電子部品の製造とサービスを通して
世界のお客様に満足して頂ける仕事をいつも提供し続けることにより
豊かな社会の実現に貢献します。

長期ビジョン

抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化

行動指針 (三つのC)

- C**hange (チェンジ：革新)
NOBLEは未来に向かって革新します
- C**hallenge (チャレンジ：挑戦)
NOBLEは失敗を恐れず挑戦します
- C**ommunicate (コミュニケーション：連携)
NOBLEはお取引様やグループ内の連携強化を図ります

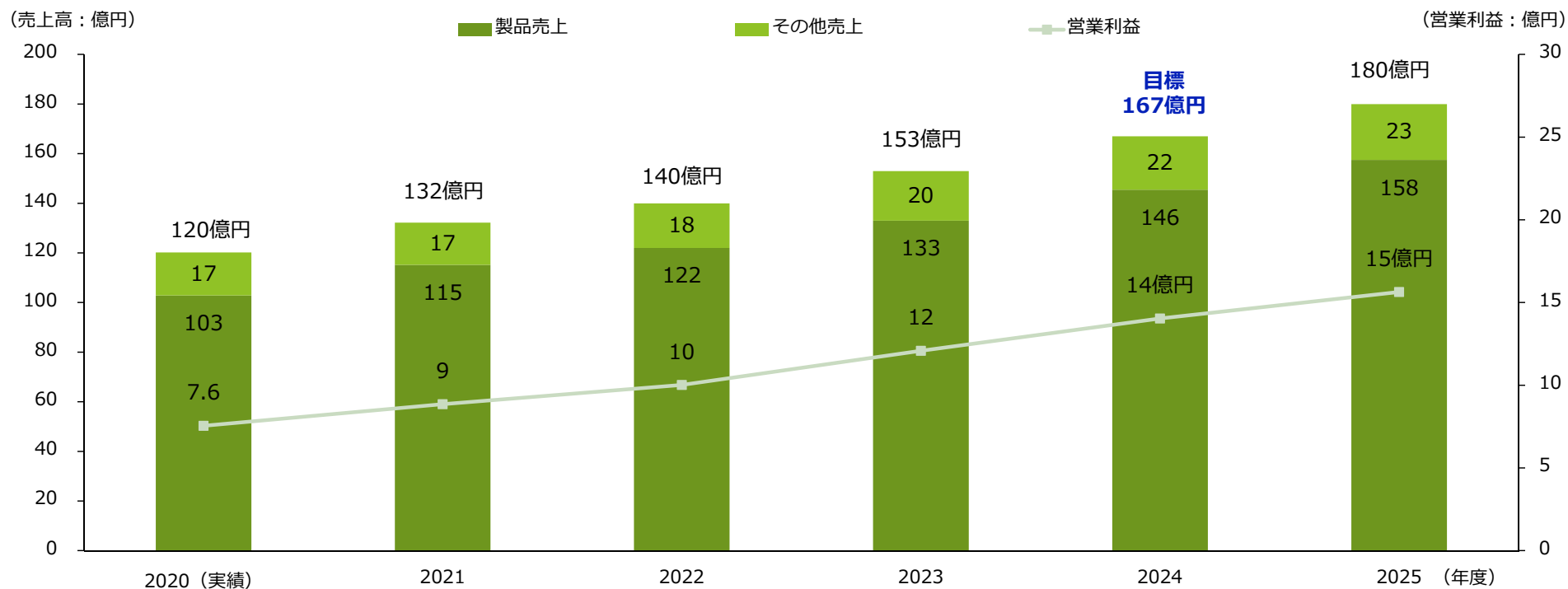
中期経営計画の基本戦略 (2021年5月11日公表の中期経営計画資料より一部抜粋)

- ▶ 長期ビジョン「抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化」及び2021年～2025年度を対象とした中期経営計画を2021年5月に公表いたしました。
- ▶ 3つの基本戦略を通じて中期経営計画の目標達成と長期ビジョンの実現を目指します。

基本戦略	既存領域の拡大 顧客ニーズを捉えた新製品展開 新領域の確立	
中期経営計画	今期 中期経営計画	次期 中期経営計画（暫定）
	既存領域の拡大・新領域の模索 <ul style="list-style-type: none"> ✓ コア技術の活用による新製品開発 <ul style="list-style-type: none"> ▶ チップ抵抗・非接触スイッチ等の開発 ✓ 新技術領域の構築 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ソフト・回路・微細加工領域の構築 ✓ 販売力、マーケット拡販の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規営業・提案型営業の強化 ✓ 品質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 求められる品質基準への対応 ✓ 生産性の向上・付加価値の向上 	新領域の確立 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 今期中計の取組の強化と、収益力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 注力業界の動向を捉えた取組の強化 ▶ 現在の固定・可変抵抗器以外の製品・技術の確立 ✓ 新業界への挑戦（公共・通信等） ✓ グローバル拠点の連携強化・拡大 ✓ 生産性の向上・付加価値の向上
	組織力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 次世代へのグローバルな人材開発と育成、新卒・中途社員の積極採用 ✓ コア技術・製造技術の技術承継 ✓ 本社・工場への設備投資（BCP・ESGへの取組） 	

中期経営計画の数値目標 (2021年5月11日公表の中期経営計画資料より抜粋)

- 2025年度に売上高180億円（2020年度実績対比約50%増）、営業利益15億円（2020年度実績対比約100%増）を目指し、当社創立80周年に売上高167億円、営業利益14億円を目標とする。
- 上記数値目標は、経営環境の変化に応じて見直しを行う。



*製品売上とは当社電子部品セグメント中、主要製品の売り上げ

創立80周年

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。

また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。